

## 環境目標

ニッポンハムグループはこれまで、3カ年ごとの中期経営計画において活動の環境負荷低減を目指した環境目標を策定してきました。2021年4月、「Vision2030」と「5つのマテリアリティ（重要課題）」の策定にあわせて、中長期的な視点で、2030年をゴールとする新たな環境目標を策定しました。持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷低減に努めるとともに資源の有効利用に継続的に取り組んでいます。また、2022年度より国内の中長期環境目標に合わせ海外における2030年をゴールとした環境目標を設定します。今後はより一層グローバルな観点で持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。

### 国内における中長期環境目標の結果

目標	単位	基準値	目標値	2021年度実績	進捗状況
化石燃料由来CO <sub>2</sub> 排出量の削減 (2013年度を基準に46%以上削減)	t-CO <sub>2</sub>	550,518	297,279	480,065	削減量(基準値差) : ▲70,453 削減率(基準値比) : ▲12.8%
廃棄物排出量(原単位目標) (2019年度を基準に5%削減)	kg/t	134.6	127.9	124.7	削減量(基準値差) : ▲9.9 削減率(基準値比) : ▲7.4%
廃棄物リサイクル率 (2030年度に92%以上)	%	84.1	92.0	93.0	—
用水使用量(原単位目標) (2019年度を基準に5%削減)	m <sup>3</sup> /t	15.2	14.4	15.0	削減量(基準値差) : ▲0.2 削減率(基準値比) : ▲1.3%

- ※ 目標の対象範囲：化石燃料由来のCO<sub>2</sub>排出量の削減、廃棄物リサイクル率・・・当社グループの国内拠点  
廃棄物排出量、用水使用量・・・当社グループの国内拠点における商品製造工場など
- ※ CO<sub>2</sub>排出量および熱量は、毎年の温対法に定める各種係数を使用して算定
- ※ 各原単位のベースは、商品製造工場における製造数量

### 海外における中長期環境目標

目標	単位	基準値	目標値
化石燃料由来CO <sub>2</sub> 排出量の削減 (2021年度を基準に24%以上削減)	t-CO <sub>2</sub>	143,340	108,938
用水使用量(原単位目標) (2021年度を基準に5%削減)	m <sup>3</sup> /t	14.7	14.1

- ※ 目標の基準年：海外については2021年度実績を基準とし、削減目標の設定は国内の年削減率と同等とした  
目標の対象範囲：化石燃料由来のCO<sub>2</sub>排出量の削減・・・当社グループの海外拠点  
用水使用量・・・当社グループの海外拠点における商品製造工場など
- ※ CO<sub>2</sub>排出量は、海外各社が所在する国や地域が定める方法を中心に、不明の場合は日本国 温対法並びにIEA Emissions Factorsの係数を使用して算定
- ※ 各原単位のベースは、商品製造工場における製造数量

## 中期経営計画2020の結果

2018年4月1日からスタートした「中期経営計画2020」においては、2012年度～2016年度の平均値をもとにした環境目標を設定しました。取り組みの結果は以下の通りです。

取組項目		基準値 (2012～2016年度平均値)	目標値 (2018年～2020年度平均値)	結果 (2018年～2020年度平均値) (基準値より)
地球温暖化防止	CO <sub>2</sub> 排出量原単位	701.1 kg-CO <sub>2</sub> /t	8.0% 削減 (645.1 kg-CO <sub>2</sub> /t)	10.0% 削減 (631.0 kg-CO <sub>2</sub> /t)
	熱量原単位	12.0 GJ/t	8.0% 削減 (11.0 GJ/t)	3.3% 削減 (11.6 GJ/t)
省資源の取り組み	用水使用量原単位 ※1	17.7 m <sup>3</sup> /t	3.0% 削減 (17.2 m <sup>3</sup> /t)	4.5% 増加 (18.5 m <sup>3</sup> /t)
	廃棄物発生量原単位 ※2	207.5 kg/t	6.0% 削減 (195.1 kg/t)	14.3% 増加 ※3 (237.1 kg/t)
再資源化の推進	廃棄物リサイクル率	90.8%	94.0% 以上	88.9%

※ CO<sub>2</sub>排出量および熱量は、毎年の温対法に定める各種係数を使用して算定

※ 目標の対象範囲：当社グループの国内拠点

※ 各原単位のベースは、製品の製造数量

※ 目標にある削減率は、基準値からの削減率

※1 用水使用量および排水量には、生産部門において一部推計値を含む

※2 ファーム由来の糞尿を除く

※3 2018年に発生した台風21号および北海道胆振東部地震に伴う廃棄物は除く

# 地球温暖化の防止

## サプライチェーン全体における温室効果ガス排出量

国内の「Scope1」「Scope2」「Scope3」は、AA1000の基準においてSGSジャパン株式会社により第三者検証を受審しています。

また、2021年度より海外の実績についても追加しています※。

※ メタン、一酸化二窒素については、ISO14064-3の基準において第三者検証を受審

### ■ 温室効果ガス排出量

Scope	項目	事業範囲	Scope2 パターン	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
Scope 1	CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	国内	—	220	216	215	220	222
	CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	海外	—	—	—	—	—	52
	メタン (千t-CO <sub>2</sub> )	全社	—	30	30	31	28	116
	一酸化二窒素 (千t-CO <sub>2</sub> )	全社	—	98	102	102	101	102
Scope 2	CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	国内	ロケーションベース	298	303	290	276	267
	マーケットベース		—	—	269	257	260	
	CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	海外	ロケーションベース	—	—	—	—	92
合計	CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	全社	ロケーションベース	646	651	638	625	851
Scope 3	CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	国内	—	10,157	10,948	11,134	10,576	10,503

※ データ範囲：Scope1、Scope2は当社グループの国内、海外、Scope3は当社グループの国内拠点における事業活動

※ Scope1、Scope2の温室効果ガス排出量は、以下のように算定

国内：日本国 温対法に定める各種係数を使用して算定

↳ ロケーションベースは、毎年の電気事業者別排出係数（同法に基づく）における代替値を使用して算定

↳ マーケットベースは、毎年の各電力会社における電気事業者別排出係数（同法に基づく）を使用して算定

海外：各会社・事業所が所在する国や地域が定める法令やガイドラインなどを中心に、不明な場合は日本国 温対法の各種係数などを使用

↳ ロケーションベースは、不明な場合、IEAが提供するEmissions Factors を使用

※ パーフフルオロカーボン、六フッ化硫黄、三フッ化窒素の排出はなし。また、ハイドロフルオロカーボンは算定対象外

※ Scope3は、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインVer.2.4をもとに、各カテゴリごとにシナリオを設定、算定を実施

算定に使用した原単位は下記を使用または参考にして

・毎年温対法に定める各種係数

・サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出などの算定のための排出原単位データベース Ver.3.2

### ■ Scope1,2：化石燃料由来のCO<sub>2</sub>排出量および原単位の推移（国内における事業活動別実績）

項目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
食品工場 (千t-CO <sub>2</sub> )	□ケーションベース	288.1	288.4	277.9	271.9	268.0
	マーケットベース	—	—	258.2	252.0	257.1
生産・飼育の施設や牧場 (千t-CO <sub>2</sub> )	□ケーションベース	94.1	93.5	94.0	95.2	93.1
	マーケットベース	—	—	97.9	100.3	97.4
物流センター・営業所など (千t-CO <sub>2</sub> )	□ケーションベース	70.8	71.8	69.6	66.4	65.6
	マーケットベース	—	—	66.5	63.2	64.6
食肉の処理・加工工場など (千t-CO <sub>2</sub> )	□ケーションベース	64.1	63.0	61.5	60.8	60.2
	マーケットベース	—	—	60.0	60.0	61.0
合計 (千t-CO <sub>2</sub> )	□ケーションベース	517.1	516.7	503.0	494.3	486.9
	マーケットベース	—	—	482.6	475.5	480.1
排出量原単位 (kg-CO <sub>2</sub> /t)	□ケーションベース	640.9	648.1	630.8	614.4	600.9
	マーケットベース	—	—	605.2	591.1	592.4

※ 原単位のベースは、製品の製造数量

### ■ Scope3の内訳（国内における2021年度実績）

カテゴリー	CO <sub>2</sub> (t-CO <sub>2</sub> )	構成比(%)
1 購入した製品・サービス	8,762,754	83.4
2 資本財	156,771	1.5
3 Scope1,2に含まれない燃料およびエネルギー活動	82,981	0.8
4 輸送・配送（上流）	764,084	7.3
5 事業から出る廃棄物	43,887	0.4
6 出張	2,969	0.1
7 雇用者の通勤	56,016	0.5
8 リース資産（上流）	4,110	0.0
9 輸送・配送（下流）	112,323	1.1

カテゴリー	CO <sub>2</sub> (t-CO <sub>2</sub> )	構成比(%)
10 販売した製品の加工	245,342	2.3
11 販売した製品の使用	146,378	1.4
12 販売した製品の廃棄	125,839	1.2
13 リース資産（下流）	該当なし	—
14 フランチャイズ	該当なし	—
15 投資	該当なし	—
<b>合計</b>	<b>10,503,454</b>	<b>100.0</b>

# 省資源の取り組み

## エネルギーの使用

2021年度より、国内に加えて海外の実績についても追加しています。

### ■各種エネルギー使用量の推移

項目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
国内	燃料 (TJ)	ガソリン	56	52	46	37	35
		灯油	563	542	570	591	588
		軽油	379	375	371	372	379
		A重油	1,040	968	867	852	775
		液化石油ガス (LPG)	373	361	392	420	455
		液化天然ガス (LNG)	201	217	281	302	315
		都市ガス	946	971	996	1,034	1,111
		バイオマス	—	—	—	—	59
		燃料 合計	3,558	3,486	3,523	3,608	3,658
	蒸気、冷水、温水 (TJ)	9	21	20	20	21	
電力 (TJ)	5,689	5,772	5,768	5,708	5,727		
小計 (TJ)	9,256	9,279	9,311	9,336	9,465		
海外	燃料 (TJ)	ガソリン	—	—	—	—	9
		灯油	—	—	—	—	0
		軽油	—	—	—	—	86
		重油	—	—	—	—	29
		石炭	—	—	—	—	343
		液化石油ガス (LPG)	—	—	—	—	48
		天然ガス	—	—	—	—	190
		都市ガス	—	—	—	—	6
		バイオマス	—	—	—	—	288
	燃料 合計	—	—	—	—	999	
蒸気、冷水、温水 (TJ)	—	—	—	—	44		
電力 (TJ)	—	—	—	—	600		
小計 (TJ)	—	—	—	—	1,643		
合計 (TJ)	9,256	9,279	9,311	9,336	11,108		

※ データ範囲：当社グループの拠点（海外のデータは2021年度より開示）

※ 2017年度より、国内の化石燃料由来のエネルギー使用量についてSGSジャパン株式会社により第三者検証を受審

※ 各種エネルギー使用量は国内、海外において以下のように算定

国内：毎年の温対法および省エネ法に定める各種係数などを使用

海外：各会社・事業所が所在する国や地域が定める法令やガイドラインなどを中心に、不明な場合は日本国 省エネ法の各種係数などを使用

### ■ 電力使用量・原単位の推移（国内における事業活動別実績）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
食品工場（百万kWh）	342.8	345.7	342.4	339.5	343.4
生産・飼育の施設や牧場（百万kWh）	75.0	77.9	79.2	79.2	78.1
物流センター・営業所など（百万kWh）	93.6	95.0	95.8	94.5	95.0
食肉の処理・加工工場など（百万kWh）	69.7	71.4	72.6	71.7	72.0
合計（百万kWh）	581.1	590.0	590.0	584.9	588.5
（内）再生可能エネルギー由来電力（百万kWh）	—	—	0.01	0.30	1.40
使用量原単位（kWh/t）	720.2	740.0	739.8	726.9	726.3

※ 原単位のベースは、製品の製造数量

### ■ 燃料使用量・原単位の推移（国内における事業活動別実績）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
食品工場（千kl）	51.0	50.6	50.6	51.6	52.5
生産・飼育の施設や牧場（千kl）	21.6	20.8	21.5	22.6	22.5
物流センター・営業所など（千kl）	8.8	8.9	8.8	8.5	8.6
食肉の処理・加工工場など（千kl）	10.7	10.3	10.7	11.1	11.5
合計（千kl）	92.1	90.6	91.6	93.8	95.1
使用量原単位（l/t）	114.1	113.7	114.8	116.5	117.3

### ■ 用途別燃料使用量の推移（国内）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
燃料（千kl）	80.9	79.7	80.9	83.3	84.5
車両の燃料（千kl）	11.2	10.9	10.7	10.5	10.6
合計（千kl）	92.1	90.6	91.6	93.8	95.1

※ 燃料使用量は、毎年の省エネ法に定める各種係数を使用して算定した原油換算値

※ 原単位のベースは、製品の製造数量

## 水資源の使用

国内の用水の使用量は、2018年度よりAA1000の基準においてSGSジャパン株式会社により第三者検証を受審しています。

### ■ 用水使用量・原単位の推移（国内拠点における事業活動別実績）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
食品工場（千m <sup>3</sup> ）	8,334	8,316	8,305	8,301	8,274
生産・飼育の施設や牧場（千m <sup>3</sup> ）	2,318	1,879	1,941	1,868	1,829
物流センター・営業所など（千m <sup>3</sup> ）	197	207	195	201	186
食肉の処理・加工工場など（千m <sup>3</sup> ）	4,303	4,395	4,379	4,450	4,432
合計（千m <sup>3</sup> ）	15,152	14,797	14,820	14,820	14,721
使用量原単位（m <sup>3</sup> /t）	18.8	18.6	18.6	18.4	18.2

※ データ範囲：当社グループの国内拠点

※ 用水使用量および排水量には、生産部門において一部推計値を含む

※ 原単位のベースは、製品の製造数量

### ■ 用水使用量の推移（取水源別）

2021年度より海外の実績について追加しています。

項目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
国内	使用水（千m <sup>3</sup> ）	地下水	11,019	10,798	10,868	10,873	10,881
		工業用水	1,876	1,828	1,811	1,793	1,739
		上水	2,257	2,171	2,141	2,154	2,101
		合計	15,152	14,797	14,820	14,820	14,721
	再利用・再生利用水（千m <sup>3</sup> ）	37	37	35	39	37	
	排水（千m <sup>3</sup> ）	河川などへの処理水放流	10,714	11,019	11,897	11,765	12,224
		下水	1,442	1,485	1,514	1,489	1,512
		合計	12,156	12,504	13,411	13,254	13,736
海外	使用水（千m <sup>3</sup> ）	地下水	—	—	—	—	611
		表層水	—	—	—	—	564
		工業用水	—	—	—	—	698
		上水	—	—	—	—	1,402
		海水	—	—	—	—	13
		合計	—	—	—	—	3,288

※ データ範囲：当社グループの拠点（海外は中長期環境目標の対象拠点のみ）

※ 用水使用量および排水量には、生産部門において一部推計値を含む

## 廃棄物

### ■ 廃棄物発生量・原単位の推移（国内における事業活動別実績）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
食品工場（千t）	90.4	89.3	91.8	88.7	84.8
生産・飼育の施設や牧場（千t）	233.3	235.5	199.0	188.2	186.4
物流センター・営業所など（千t）	7.6	8.3	8.3	7.8	8.0
食肉の処理・加工工場など（千t）	91.8	101.6	112.2	117.8	118.4
合計（千t）	423.1	434.7	411.3	402.5	397.6
発生量原単位（kg/t）	524.4	545.3	515.7	500.2	490.7

※ データ範囲：当社グループの国内拠点

※ 2018年に発生した台風21号および北海道胆振東部地震に伴う廃棄物は除く

※ 原単位のベースは、製品の製造数量

### ■ 廃棄物の内訳（国内における実績）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
廃棄物発生量（千t）	423.1	434.7	411.3	402.5	397.6
（内）排出量（千t）	222.3	232.7	205.1	208.8	198.7
再生利用量（千t）	398.7	405.3	373.8	376.9	380.8
最終処分量（千t）	17.1	20.7	22.7	19.7	9.6
再資源化率（%）	94.3	93.6	92.1	94.7	96.9

## 容器包装の再商品化実施委託

日本では、容器包装を利用している企業は、容器包装リサイクル法により、容器包装の再商品化義務が課せられています。

ニッポンハムグループは、公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会に再商品化を委託し、

製造・販売した商品の数量に応じた再商品化実施委託料金を支払っています。

契約年度		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
対象容器包装の排出申込量 (t)	プラスチック容器包装	7,735	7,188	6,495	6,429	6,909
	紙容器包装	41	54	36	33	29
	びん	509	547	521	291	510
	PETボトル	0	0	0	0	0
契約の根拠となる実績算定年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度

※ データ範囲：当社グループの国内拠点

※ 対象容器包装の排出申込量は前々年度の製造・販売実績から算出

## 環境法令の遵守状況

2021年度、ニッポンハムグループの国内事業所において、環境へ重大な影響を与える事故は発生しませんでした。しかしながら、下記の通り対応が必要な事象が発生しました。発生直後の対応とともに継続的な対策をとることにより、以後、同様の事象は発生していません。

食品製造工場	
概要	2021年7月1日、管轄の保健所による排水検査（不定期）において、雨水排水のBOD（生物化学的酸素要求量）の値が条例で定められた基準（25mg/L）を超過し、改善報告書の提出指示を受けました。原因は、配管中もしくは排水口の何らかの堆積物が検体に混入した可能性が考えられるものの特定はできませんでした。
対応	上記付けの排水検査を除き、以前および以後において基準値超過はありませんでした。しかしながら、念のため発生原因と想定した事象に対し以下の対策を講じました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・配管に堆積物が溜まらないよう、清掃業者による定期的な清掃の実施継続</li> <li>・雨水枡、配管、マンホール各種機器類の定期的な点検</li> <li>・定期的な水質検査の継続、および異常値検出時の報告</li> <li>・担当者への教育</li> </ul> あわせて2021年7月28日、所轄保健所へ改善完了報告書を提出し、同日受領いただきました。

## 環境関連の罰金（日本ハム（株））

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
罰金額（円）	0	0	0	0	0

## 事業活動と環境影響

### ■投入量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
とうもろこし・麦などの飼料 (千t)	667	640	660	641	626
製品の原材料 (千t)	267	249	245	241	240
電力 (百万kWh)	581	590	590	585	589
水 (百万m <sup>3</sup> )	15	15	15	15	15
燃料 (原油換算) (千kl)	81	80	81	83	84
車両の燃料 (原油換算) (千kl)	11	11	11	11	11

※ データ範囲：当社グループの国内拠点

※ 用水使用量および排水量には、生産部門において一部推計値を含む

※ 燃料は、毎年の省エネ法に定める各種係数を使用して算定した原油換算値

### ■出荷・排出量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
商品 (千t)	807	797	797	805	810
温室効果ガス (千t-CO <sub>2</sub> )	646	651	637	625	615
排水 (百万m <sup>3</sup> )	12	13	13	13	14
廃棄物 (発生量) (千t)	423	435	411	403	398
廃棄物 (リサイクル率) (%)	94.3	93.6	92.1	94.7	96.9

※ データ範囲：当社グループの国内拠点

※ 用水使用量および排水量には、生産部門において一部推計値を含む

※ 2018年に発生した台風21号および北海道胆振東部地震に伴う廃棄物は除く

# 事業別環境データ

## 生産飼育の施設や牧場の環境負荷

対象	インターファーム株式会社 4事業所/日本ホワイトファーム株式会社 4生産部/ 日本ホワイトファーム新潟株式会社 生産部/宮崎環境保全農業協同組合/純粹黒豚種豚農場
----	--

### ■エネルギー、用水の使用量および排水量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ガソリン (kl)	3	—	—	—	0
軽油 (kl)	0.2	—	—	1.0	—
A重油 (kl)	1,468	1,381	1,112	1,097	925
灯油 (kl)	14,819	14,352	15,122	15,675	15,654
液化石油ガス (LPG) (t)	2,940	2,792	3,002	3,379	3,516
購入電力 (千kWh)	75,147	77,717	79,243	79,169	78,077
用水 (千m <sup>3</sup> )	2,316	1,885	1,941	1,868	1,829
排水 (千m <sup>3</sup> )	1,947	2,172	3,262	2,985	3,364

※ 用水使用量および排水量には、生産部門において一部推計値を含む

### ■大気排出量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	88	88	88	89	87
メタン(t)	1,186	1,212	1,256	1,121	1,113
一酸化二窒素 (t)	328	343	343	340	329
窒素酸化物/NO <sub>x</sub> (t)	59	58	60	62	61
硫黄酸化物/SO <sub>x</sub> (t)	14	13	11	11	10

## ■ 廃棄物

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
発生量 (t)	233,284	235,502	199,055	188,218	186,413
排出量 (t)	63,842	64,116	23,625	25,989	25,307
最終処分量 (t)	1,715	1,147	1,527	1,433	1,138
再資源化率 (%)	97.3	98.2	93.5	94.5	95.5
減量・再資源化率 (%)	99.3	99.5	99.2	99.2	99.4

※ 2018年に発生した台風21号および北海道胆振東部地震に伴う廃棄物は除く

## ■ 廃棄物 2021年度の内訳

項目	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック	紙くず・ 廃ダンボール	金属くず	焼却灰	その他	合計
発生量 (t)	287	34,462	239	24	189	—	151,212	186,413
排出量 (t)	270	5,082	239	24	189	807	18,696	25,307
最終処分量 (t)	—	127	199	—	39	154	619	1,138
再資源率 (%)	100.0	97.5	16.7	100.0	79.4	80.9	96.7	95.5
減量・再資源化率 (%)	100.0	99.6	16.7	100.0	79.4	—	99.6	99.4

※ 焼却灰は、自社内焼却後の残灰

## 食肉の処理加工工場の環境負荷

対象	日本ホワイトファーム株式会社 5工場/日本フードパッカー株式会社 5工場/日本フードパッカー鹿児島株式会社/日本フードパッカー四国株式会社/ 日本フードパッカー津軽株式会社/宮崎ビーフセンター株式会社/日本ホワイトファーム新潟株式会社 食品工場
----	---

## ■ エネルギー、用水の使用量および排水量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ガソリン (kl)	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2
軽油 (kl)	0.5	3.0	—	1.0	—
A重油 (kl)	8,472	7,422	5,945	5,991	5,707
灯油 (kl)	266	230	233	237	212
都市ガス (千m <sup>3</sup> )	—	13	86	123	139
液化石油ガス (LPG) (t)	1,254	1,301	1,346	1,556	1,884
液化天然ガス (LNG) (t)	—	430	1,668	1,737	1,904
購入電力 (千kWh)	69,879	71,366	72,623	71,741	71,962
用水 (千m <sup>3</sup> )	4,307	4,386	4,379	4,450	4,432
排水 (千m <sup>3</sup> )	3,817	3,860	3,860	3,908	3,957

## ■ 大気排出量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	63	62	61	60	60
窒素酸化物/NO <sub>x</sub> (t)	42	41	41	42	42
硫黄酸化物/SO <sub>x</sub> (t)	71	62	50	50	48

## ■ 廃棄物

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
発生量 (t)	91,767	101,633	112,150	117,781	118,404
排出量 (t)	69,387	78,492	88,289	93,738	87,100
最終処分量 (t)	6,235	8,722	9,434	7,224	4,362
再資源化率 (%)	91.0	88.9	89.3	92.3	95.0
減量・再資源化率 (%)	93.2	91.4	91.6	93.9	96.3

※ 2018年に発生した台風21号および北海道胆振東部地震に伴う廃棄物は除く

## ■ 廃棄物 2021年度の内訳

項目	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック	紙くず・ 廃ダンボール	金属くず	その他	合計
発生量 (t)	86,791	19,347	502	206	101	11,457	118,404
排出量 (t)	57,964	18,853	502	206	101	9,474	87,100
最終処分量 (t)	1,861	769	73	1	1	1,657	4,362
再資源率 (%)	96.8	95.9	85.5	99.5	99.0	82.5	95.0
減量・再資源化率 (%)	97.9	96.0	85.5	99.5	99.0	85.5	96.3

## ハム・ソーセージ製造の環境負荷

対象	日本ハムファクトリー株式会社 5工場/東北日本ハム株式会社/日本ハム北海道ファクトリー株式会社/南日本ハム株式会社/ 株式会社函館カール・レイモン/株式会社鎌倉ハム富岡商会/協同食品株式会社/株式会社ジャバス
----	---

### ■ エネルギー、用水の使用量および排水量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ガソリン (kl)	0.2	0.2	0.3	0.3	0.1
軽油 (kl)	7	1	1	6	2
A重油 (kl)	7,819	7,539	7,508	7,644	6,932
灯油 (kl)	63	35	38	45	23
都市ガス (千m <sup>3</sup> )	2,167	2,046	2,037	2,010	2,647
液化石油ガス (LPG) (t)	722	590	544	603	572
液化天然ガス (LNG) (t)	3,680	3,537	3,475	3,530	3,510
購入蒸気、冷水、温水 (GJ)	8,988	9,849	9,761	9,622	11,105
購入電力 (千kWh)	106,551	105,870	104,467	103,453	104,465
用水 (千m <sup>3</sup> )	2,752	2,747	2,732	2,757	2,733
排水 (千m <sup>3</sup> )	2,446	2,546	2,563	2,573	2,534

### ■ 大気排出量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	93	91	88	86	84
窒素酸化物/NO <sub>x</sub> (t)	60	58	58	58	58
硫黄酸化物/SO <sub>x</sub> (t)	66	63	63	64	58

## ■ 廃棄物

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
発生量 (t)	22,924	22,377	28,218	27,116	26,087
排出量 (t)	22,924	22,373	28,199	27,099	26,071
最終処分量 (t)	2,038	2,282	2,624	2,423	612
再資源化率 (%)	91.1	89.8	90.7	91.1	97.7
減量・再資源化率 (%)	91.1	89.8	90.7	91.1	97.7

※ 2018年に発生した台風21号および北海道胆振東部地震に伴う廃棄物は除く

## ■ 廃棄物 2021年度の内訳

項目	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック	紙くず・ 廃ダンボール	金属くず	その他	合計
発生量 (t)	9,778	7,674	3,646	3,794	261	934	26,087
排出量 (t)	9,778	7,674	3,646	3,794	261	918	26,071
最終処分量 (t)	53	6	479	3	5	66	612
再資源率 (%)	99.5	99.9	86.9	99.9	98.1	92.7	97.7
減量・再資源化率 (%)	99.5	99.9	86.9	99.9	98.1	92.8	97.7

## 加工食品製造の環境負荷

対象	日本ハム株式会社/日本ハム食品株式会社 3工場/日本ハム惣菜株式会社 3工場/日本ピュアフード株式会社 8工場/株式会社宝幸 2工場/ 南日本フレッシュフード株式会社/プレミアムキッチン株式会社 2工場
----	--

## ■ エネルギー、用水の使用量および排水量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ガソリン (kl)	—	0.060	0.008	0.010	0.051
軽油 (kl)	7	78	19	20	24
A重油 (kl)	6,986	6,683	6,274	6,135	5,624
灯油 (kl)	27	24	10	10	6
都市ガス (千m <sup>3</sup> )	17,356	18,055	18,166	18,983	19,651
液化石油ガス (LPG) (t)	2,119	2,153	2,574	2,514	2,755
購入電力 (千kWh)	203,191	205,821	202,178	200,435	203,574
用水 (千m <sup>3</sup> )	4,500	4,504	4,507	4,472	4,514
排水 (千m <sup>3</sup> )	2,983	2,984	2,772	2,830	2,951

## ■ 大気排出量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	168	171	164	161	160
窒素酸化物/NOx (t)	110	113	111	111	113
硫黄酸化物/SOx (t)	59	56	53	52	47

## ■ 廃棄物

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
発生量 (t)	52,923	53,054	52,249	50,605	49,329
排出量 (t)	44,167	45,691	45,427	43,274	43,841
最終処分量 (t)	2,989	3,931	4,537	4,165	1,632
再資源化率 (%)	93.2	91.4	90.0	90.4	96.3
減量・再資源化率 (%)	94.4	92.6	91.3	91.8	96.7

※ 2018年に発生した台風21号および北海道胆振東部地震に伴う廃棄物は除く

## ■ 廃棄物 2021年度の内訳

項目	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック	紙くず・ 廃ダンボール	金属くず	焼却灰	その他	合計
発生量 (t)	19,662	14,341	4,600	6,188	889	—	3,649	49,329
排出量 (t)	17,413	11,627	3,892	6,188	889	183	3,649	43,841
最終処分量 (t)	56	602	667	30	40	183	54	1,632
再資源率 (%)	99.7	94.8	82.9	99.5	95.5	0.0	98.5	96.3
減量・再資源化率 (%)	99.7	95.8	85.5	99.5	95.5	—	98.5	96.7

※ 焼却灰は、自社内焼却後の残灰

## 水産・乳製品製造の環境負荷

対象	マリンフーズ株式会社/日本ルナ株式会社 2工場/株式会社宝幸 3工場/釧路丸水株式会社
----	---

## ■ エネルギー、用水の使用量および排水量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ガソリン (kl)	0.03	0.01	0.01	—	0.01
軽油 (kl)	0.03	0.02	—	—	8.20
A重油 (kl)	1,847	1,730	1,341	919	645
灯油 (kl)	37	35	39	33	32
都市ガス (千m <sup>3</sup> )	1,395	1,350	1,686	1,733	2,156
液化石油ガス (LPG) (t)	269	223	197	175	187
液化天然ガス (LNG) (t)	—	—	—	265	354
購入蒸気、冷水、温水 (GJ)	—	2,632	2,619	2,600	2,501
購入電力 (千kWh)	32,765	34,151	35,682	35,333	33,922
用水 (千m <sup>3</sup> )	1,077	1,062	1,066	1,072	1,027
排水 (千m <sup>3</sup> )	901	869	887	880	866

## ■ 大気排出量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	26	26	26	24	24
窒素酸化物/NO <sub>x</sub> (t)	17	17	17	16	16
硫黄酸化物/SO <sub>x</sub> (t)	16	15	11	8	5

## ■ 廃棄物

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
発生量 (t)	14,535	13,862	11,400	11,022	9,398
排出量 (t)	14,435	13,761	11,314	10,960	9,346
最終処分量 (t)	806	830	976	965	439
再資源化率 (%)	94.4	94.0	91.4	91.2	95.3
減量・再資源化率 (%)	94.5	94.0	91.4	91.2	95.3

※ 2018年に発生した台風21号および北海道胆振東部地震に伴う廃棄物は除く

## ■ 廃棄物 2021年度の内訳

項目	動植物性残渣	汚泥	廃プラスチック	紙くず・ 廃ダンボール	金属くず	その他	合計
発生量 (t)	4,212	3,369	506	894	163	254	9,398
排出量 (t)	4,160	3,369	506	894	163	254	9,346
最終処分量 (t)	14	62	190	—	9	164	439
再資源率 (%)	99.7	98.2	62.5	100.0	94.5	35.4	95.3
減量・再資源化率 (%)	99.7	98.2	62.5	100.0	94.5	35.4	95.3

## 営業所、物流拠点、本社・支社、研究所の環境負荷

対象	日本ハム株式会社/日本ハムマーケティング株式会社/日本ルートサービス株式会社/日本ハム冷凍食品株式会社/日本ハムカスタマー・コミュニケーション株式会社/ 日本物流センター株式会社/日本チルド物流株式会社/日本デイリーネット株式会社/ジャパンフード株式会社/NHジャパンフード株式会社/東日本フード株式会社/ 関東日本フード株式会社/中日本フード株式会社/西日本フード株式会社/日本ピュアフード株式会社/マリンフーズ株式会社/株式会社宝幸/ 株式会社北海道日本ハムファイターズ/日本ルナ株式会社/南日本フレッシュフード株式会社/株式会社函館カール・レイモン/株式会社ウスネ
----	--

## ■ エネルギー、用水の使用量および排水量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ガソリン (kl)	—	0.03	—	—	—
灯油 (kl)	115	105	95	96	96
都市ガス (千m <sup>3</sup> )	190	213	258	240	205
液化石油ガス (LPG) (t)	42	41	40	41	41
購入蒸気、冷水、温水 (GJ)	—	8,134	7,505	7,625	7,120
購入電力 (千kWh)	93,532	95,042	95,825	94,477	95,106
用水 (千m <sup>3</sup> )	200	213	195	202	186

## ■ 大気排出量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	49	50	48	46	44
窒素酸化物/NO <sub>x</sub> (t)	28	29	29	29	29
硫黄酸化物/SO <sub>x</sub> (t)	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01

## ■ 廃棄物

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
発生量 (t)	7,646	8,280	8,224	7,749	7,992
排出量 (t)	7,542	8,280	8,223	7,748	7,992
最終処分量 (t)	3,284	3,804	3,586	3,464	1,408
再資源化率 (%)	56.5	54.0	56.4	55.3	82.4
減量・再資源化率 (%)	57.1	54.1	56.4	55.3	82.4

※ 2018年に発生した台風21号および北海道胆振東部地震に伴う廃棄物は除く

## ■ 廃棄物 2021年度の内訳

項目	動植物性残渣	廃プラスチック	紙くず・ 廃ダンボール	金属くず	その他	合計
発生量 (t)	2,898	638	3,714	74	668	7,992
排出量 (t)	2,898	638	3,714	74	668	7,992
最終処分量 (t)	624	361	266	2	155	1,408
再資源率 (%)	78.5	43.4	92.8	97.3	76.8	82.4
減量・再資源化率 (%)	78.5	43.4	92.8	97.3	76.8	82.4

## 車両の環境負荷

対象車両	ニッポンハムグループが国内で使用する車両：約4,000台（2022年3月31日現在）
------	--

## ■ 車両燃料使用量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
軽油 (kl)	10,033	9,853	9,821	9,839	10,015
ガソリン (kl)	1,621	1,503	1,336	1,083	1,014
天然ガス (千m <sup>3</sup> )	2	—	—	—	—

## ■ 大気排出量

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
CO <sub>2</sub> (千t-CO <sub>2</sub> )	30	29	28	28	28
窒素酸化物/NOx (t)	197	193	191	189	192
硫黄酸化物/SOx (t)	8	8	8	8	8